



你好

ニ
ー

ハ
オ



樂山



Leshan & Ichikawa

市川市の友好都市—四川省 樂山

Friendship City

三千年の歴史を持つ中国 四川省
そのほぼ中央に位置しているの
が樂山市です。

市川市は、世界遺産として登録
されている樂山大仏と峨眉山の
ある樂山市との間に、1981年に
友好都市を締結いたしました。

良好な自然環境と景観に恵まれ、
動植物の宝庫であるこの都市は
自然の博物館とも呼ばれ、多く
の人々に愛されています。

樂山

ら
く

ざ
ん



世界遺産と豊かな自然に

囲まれた都市

四川省・樂山

樂山市は、中国四川省の南西部に位置し、同省の省都、成都市から南西約130kmの地点にある三千有余年の歴史を持った都市です。また青衣江、岷江、大渡河と呼ばれる3つの河川の合流点にあるところから、成都市、重慶市などの主要都市につながる水陸交通の要衝として栄えています。

なお、樂山市は1997年9月に樂山市と眉山市に分割され、分割後は、人口が約353万人、市域面積が約12,800平方キロメートル（千葉県約2.5倍）となっています。

気候は比較的温暖で雨が多く、土壌は肥沃で米、茶、みかん等を中心とした農作物の栽培が盛んであり、農業従事者が全人口の大部分を占める農業を中心とした都市ですが、最近ではハイテク産業を中心に、工業、金融やサービス業などの発展もめざましいものがあります。



樂山市一帯の地形は起伏に富み、良好な自然環境と景観にも恵まれています。また、動植物の宝庫であるところから自然の博物館となっており、年間を通して内外からの観光客が絶えません。1996年12月、樂山大仏と峨眉山が、ユネスコの世界自然文化複合遺産に登録されています。



information

交通

国際空港のある成都から樂山市街までは、バスで約2時間。



ホテル

樂山市街にある金海堂大酒店、嘉州賓館、山湾賓館のほか、峨眉山付近にある紅珠山賓館、峨眉山大酒店など多数あります。

時差

日本との時差はマイナス1時間。日本の午前10時は中国の午前9時。

飲料水

中国の水道水は石灰分が多い硬質の水のため、そのまま飲むのは避けること。水は沸騰させて飲むか、ミネラルウォーターを購入して飲むとよいでしょう。

電圧とプラグ

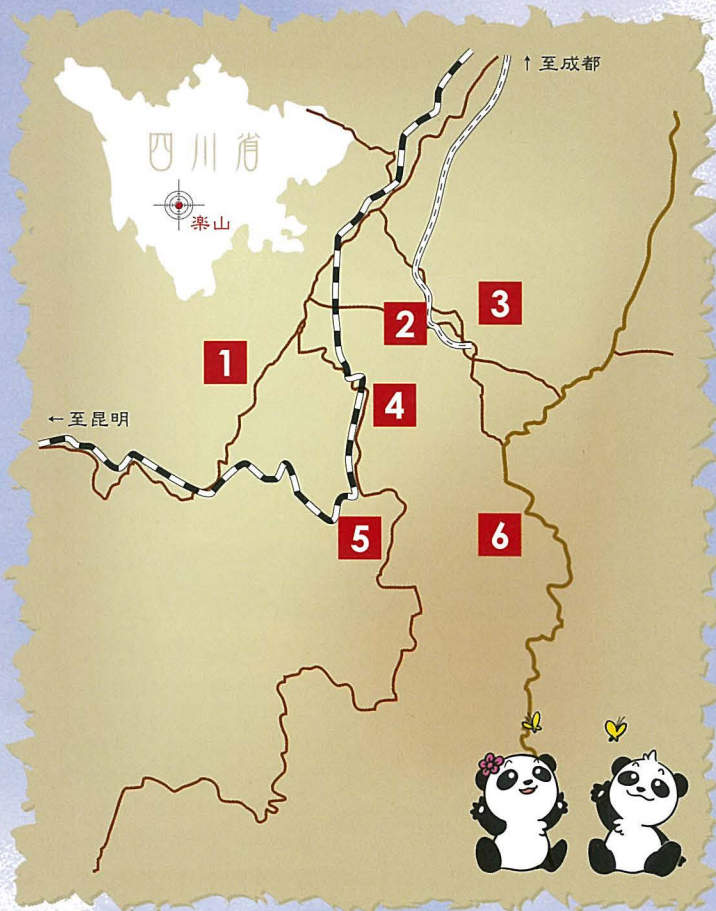
電圧は220Vで周波数50Hz。プラグは7種類ほど使用されています。日本国内用の電化製品はそのままでは使えませんので、変圧器と変換プラグが必要です。



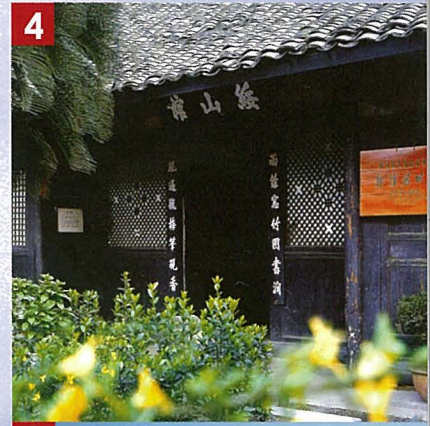
1



Map of Tourist areas In Leshan



4



5



6



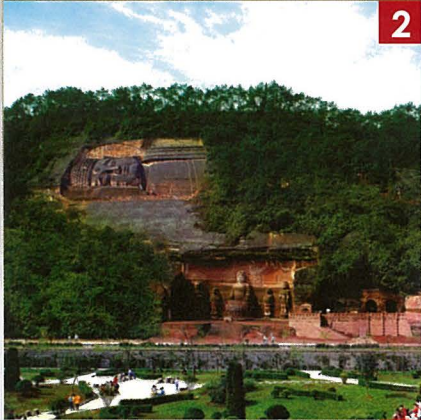
7



8



2



3



1 峨眉山 世界遺産

標高3099m。中国仏教の4大名山のひとつで、山中に数十の寺院があります。その美しい風景は「峨眉は天下の秀麗」と称えられ、金頂には、絢爛豪華な金殿、銀殿、銅殿や金箔の普賢菩薩像が建っています。

2 東方佛都

東南アジア、インド、日本、中国国内にある代表的な仏像3,000点あまりを敷地内に再現しています。その中には日本の鎌倉大仏もあります。

3 樂山大仏 世界遺産

713年に建設が開始され、90年後の803年に完成したといわれています。高さ71mと世界最大の石仏坐像で、顔だけでも14.7mあります。

4 郭沫若旧居・博物館

郭沫若の生誕地、樂山市沙湾区に旧居ならびに博物館が公開。博物館内には、市川市と樂山市の交流の様子や郭沫若の生い立ちが紹介されています。

5 中日友誼学校

平成13年に締結20周年を記念し、郭沫若の生誕地である沙湾区牛石鎮に、市川市と樂山市の友好の証となるよう両市民の協力により建設されました。

6 嘉陽小鉄道

レール幅が762mmと標準列車の半分しかない狭い軌道で、世界で唯一正常に運行している狭軌道蒸気機関車です。全長19.8kmの険しい山脈の中をSLに引かれた客車が走りぬけ、世界中から集まる観光客を楽しませています。

7 樂山市街

樂山市の美しく整備された街並み。市内には昔の名残もみられますが、新興住宅地の開発は目覚ましいものがあります。

8 四川料理

中国4大料理の1つで、「食は広州にあり、味は四川にある」と絶賛されています。香辛料の辛さが癖になる美味しさ。

市川市の友好都市

樂山市
市川市

締結までの経緯

中国の政治家であり、文学者でもあった郭沫若氏が市川市須和田に10年間過ごしたことから、市民の中には日中友好運動に熱意がある方々が数多くいました。1978年8月に日中平和友好条約が締結されて以来、市川市と中国との交流が活発化し、都市締結の気運が高まったことから、1979年、来日中の郭沫若氏の長男和夫氏に中国の一都市との友好都市締結の希望を伝え、樂山市との友好都市締結の運びとなりました。1981年10月21日に友好都市が成立しました。



さまざまな交流



レッサー・パンダ

1986年に樂山市から市川市に2頭のレッサーパンダ（真真、誠誠）が寄贈されました。両市の繁栄を象徴するかのようになり、この2頭はたくさんの子どもを持ち、2011年に生まれた赤ちゃんはこの2頭の5代目にあたります。

公式代表団の交流

2011年には締結30周年を記念して相互訪問し、11月の樂山市公式団来市の際には郭沫若記念館にて植樹を行いました。



市民親善訪問団の派遣

市川市国際交流協会の主催で、これまで多くの市民が樂山市を訪問しています。2011年の訪問で、市民団は樂山市の一般家庭を訪問し、市民交流を深めました。



郭沫若記念館

郭沫若氏が家族とともに暮らした旧宅を2004年に移築・復元し、「市川市郭沫若記念館」として公開しています。2012年は郭沫若氏の生誕120周年にあたります。



歌舞劇団公演

2009年9月にはその前年に起きた四川省大震災に対する市川市民の支援にお返ししたいとして、市川市文化会館で樂山市歌舞劇団公演が開催されました。



青少年交流

1994年から、市川市国際交流協会の主催で青少年の隔年交互交流が行われており、ホームステイや現地青少年との交流などを通じて、国際的視野を広げるとともに中国の文化や習慣を学んでいます。

